

(4) 生徒の自己評価を工夫したシラバスの活用

教師は、生徒の学習の到達状況を適切に評価し、次の学習指導に生かさなければなりません。そのためには、生徒の自己評価や相互評価を取り入れたり、学習指導の過程で評価を生徒にフィードバックしたりするなど、評価の工夫を一層進めることが大切です。

ここでは、評価の工夫の一例として、生徒の自己評価をシラバスに取り入れた例や、シラバスと関連付けた自己評価を授業に取り入れた例を紹介します。

ポイント 9

シラバスに学習のねらいや到達目標に対応した自己評価欄を設けたり、自己評価シートを作成したりして、生徒自身が学習を振り返る機会を設定することができます。

次の例では、「学習のねらいと学習到達度評価項目」に対応する自己評価を、ABCの3段階で記入するように工夫しています。

自己評価欄の工夫

期 間	分 野	学習する教材	学 習 の 内 容	自 己 評 価 A B C
		単元・教材	学習のねらいと学習到達度評価項目	
第 2 学 期	古 文 中 間 考 査	4 和歌と歌謡	単元の目標 (1)各作品の修辞や大意、作品に読まれた情景や心情を理解できる。 (2)和歌文学の流れを理解できる。 (3)歌謡文学の特質について理解できる。 (4)作品の情景や感動の中心となっている心情を理解し、鑑賞できる。	
		和歌 新古今和歌集	新古今和歌集 (1)新古今和歌集の文学的な知識と、新古今風の表現の特徴である、区切れや体言止めを理解できる。 (2)中世の歌人たちの美的な無常観や芸術主義の特徴を理解できる。 (3)本歌取りの表現の効果を理解できる。	
		歌謡 梁塵秘抄 閑吟集	梁塵秘抄 (1)便覧を使い、歌謡について文学的に理解できる。 (2)それぞれの歌謡を音読して、その韻律を確認できる。 (3)それぞれの歌謡が歌われた状況を想像することができる。	

次の例は、方程式と不等式の単元のシラバスと、シラバスに示した目標の達成度について生徒に振り返りを促すための自己評価シートの例です。回収した自己評価シートには、コメントやアドバイスを書き添えて生徒にフィードバックすると、より効果的です。回収した自己評価シートは、教師にとっての授業評価として利用することもできます。

「数学 ・ A」のシラバス

平成16年度 年間学習予定表				科目名	数学 ・ A
学年	1	組	全クラス	単位 : 4単位 A : 2単位	担当(後日記入)
使用教科書			高等学校数学、高等学校数学A		使用副教材
学月	学習内容 単元・項目		配当 時間	学習についての アドバイス	テストの 実施予定
1	5	第2章 方程式と不等式 1 2次方程式 2次方程式 解の公式 2次方程式の応用 問題	7	・ 2次不等式の「解の公式」が登場します。これを用いて、2次方程式の解を即座に求めることができるようにしておきましょう。	中間テスト (5月中旬) 定期テストの 項を参照して 早めに準備す
		2 不等式 不等式 1次不等式 絶対値と方程式・不等式	7	・ 数量の大小関係を「不等式」で表します。今後、頻繁に用いられるので、使用方法とあわせてしっかり理	



「方程式と不等式」の単元の自己評価シート

到達度を自己評価し、次の学習に役立てよう。

章節	頁	重要項目	定義	定理 公式	方策	関連例題・問題	自己評価
2章	36	2次方程式 因数分解による				P36 例1, 2 問1	4 3 2 1
	37	2次方程式 $x^2 = k$ の解				P37 問2	4 3 2 1
	38	解の公式				P38 例4	4 3 2 1
	40					P40 5, 6, 7 P41 問5	
	41	解の公式 $b = 2b'$ の場合				P41 例9, 問8	4 3 2 1
	42	(判別式) Dと実数解の個数				P42 例10, 問9 例題1, 問10	4 3 2 1